

7

漢字・語句・
じよばのきまり(1)

学習日 /

1 次のそれぞれの文の——線部の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

- (1) 雨水が川に注ぐ。
- (2) 戦いに敗れる。
- (3) 屋内プールで遊ぶ。
- (4) 軽率な行動をする。
- (5) 解決を図る。
- (6) あやまちを犯す。
- (7) 策略を練る。
- (8) 郷里の母親。
- (9) つり糸を垂らす。
- (10) 明朗な性格。

(9)	(5)	(1)
(10)	(6)	(2)
	(7)	(3)
	(8)	(4)

2 次のそれぞれの文の——線部のカタカナを漢字に直して書きなさい。

- (1) 大声でワラう。
- (2) キビしい顔つき。
- (3) 交通事故をボウシする。
- (4) 授業のフクシユウをする。
- (5) 賞状をサズける。
- (6) 荷物をトドける。
- (7) アパートのヤチンを聞く。
- (8) 市が職員をサイヨウする。
- (9) 大雪がふる。
- (10) セイジツに生きる。

3 次のそれぞれの組の——線部のカタカナを、漢字に直して書きなさい。

- (1) ① 夏休みを利用してキセイする。
- ② 人の行動をキセイする。
- ③ 人体にキセイ虫が発見された。
- (2) ① あの二人はあまりにもタイシヨウ的だ。
- ② アンケートのタイシヨウ者。
- ③ この図形は左右タイシヨウになっている。
- (3) ① セツタイ安静の病人。
- ② ゼツタイ絶命のピンチ。
- ③ 電車で席をタつ。
- (4) ① 家となりにビルがタつ。
- ② かれはこつせんと消息をタつた。
- ③ ならべられた品物を手にトる。
- (5) ① 会議で決をトるので、挙手をお願いします。
- ② 服にゴミがツク。
- ③ 目的地によくツク。
- (6) ① ② ③ 新しい仕事にツク。

(9)	(5)	(1)
(10)	(6)	(2)
	(7)	(3)
	(8)	(4)

- (1) この機械を動()ときには、十分注意しなさい。

5 次のそれぞれの文の()内に入る、後に続くふさわしいことばを考
え、——線部全体を書いて、文を完成させなさい。

(7)	(4)	(1)
(8)	(5)	(2)
(9)	(6)	(3)

- (7) こまかい
- (8) おこなう
- (9) あらためる
- (4) しりぞく
- (5) さいわい
- (6) こころみる
- (1) ただちに
- (2) きこえる
- (3) こころよい

4 次のそれぞれのことばの漢字と送りがなを書きなさい。

(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)
①	①	①	①	①	①
②	②	②	②	②	②
③		③		③	③

6 次のそれぞれの文の()内のことばを後に続く形に変えて、文を完成
させなさい。

(9)	(5)	(1)
(10)	(6)	(2)
	(7)	(3)
	(8)	(4)

- (2) 先日、おじさんのところであかちゃんが生()た。
- (3) 一度くらい失敗したって悲()ことはないよ。
- (4) 親というものは、わが子の健()成長を望むものだ。
- (5) 少し歩くと平()道に出る。
- (6) 君は人にたずねてばかりいるが、少しは自分で考()。
- (7) 運動するのもよいが、度を過()ては体によくない。
- (8) 世の中には親切()ない人もいる。
- (9) 晴れた日に郊外()を散歩するのは楽()。
- (10) はずかしくて、顔が赤()だ。

- (1) もし雨が降ったら(行く)ない。
- (2) 時間がどんどん(過ぎる)ていく。
- (3) 目を(閉じる)ばいろいろなことを思い出す。
- (4) 今年の夏は(暑い)ございました。
- (5) 私に(続く)て、妹も同じ学校に入学した。
- (6) 駅までの道を(走る)て、ようやく電車に間に合った。
- (7) 学校を(休む)で、家で本を読んでいた。

□(8) 演奏会は、ほんとうに(楽しい)ございます。

(5)	(1)
(6)	(2)
(7)	(3)
(8)	(4)

7 次のそれぞれの——線部のことばに注意して、(1)～(5)の後に続く文をあとから選び、記号で答えなさい。(同じものは二度選べません)

- (1) 彼は必ずしも
- (2) 彼はたぶん
- (3) まさか彼は
- (4) けっして彼は
- (5) どうして彼は

- ア 来ることはあるまい
- イ 来るとはかぎらない
- ウ 来ないのでですか
- エ 来るでしょう
- オ 来ません

(1)
(2)
(3)
(4)
(5)

8 次のそれぞれの組の——線部のことばの中から、他の三つと意味やはたらきがちがっているものをつつ選び、記号で答えなさい。

- (1)
- ア これは図書館の本だ。
 - イ 波の音が聞こえる。
 - ウ 私の姉は看護婦をしている。
 - エ 君の考えていることはよく分かった。

□(2)

- ア 夏が過ぎ、秋となる。
- イ 弟は父とよく似ている。
- ウ ぼくは人に信用される人間になりたい。
- エ 氷がとけて水となる。

□(3)

- ア 犬さえ恩を知る。
- イ 彼でさえ遅刻しなかった。
- ウ 彼の業績は新聞にさえのった。
- エ 勝ちさえすればよいと思っている。

□(4)

- ア 紙にペンで書く。
- イ 学校へはバスでも行ける。
- ウ 弟が病気で寝こんだ。
- エ 紙をはさみで切る。

(1)
(2)
(3)
(4)

9 次のそれぞれの文が() ()の意味になるように、()に入るふさわしいことばを、あとから選び、書いて答えなさい。

- (1) この仕事をやるのは、君 () いい。
 - (2) 君 () あの問題が解けないだろう。
 - (3) このズボン () きつくなってしまった。
 - (4) 君 () 私の本を貸してあげましょう。
- (他のズボンと同様に、という気持ちで言っている)

- (5) 明日 お会いできません。
 (ほかの人と同様に、という気持ちで言っている)

〈にも・でも・も・しか・は〉
 (ほかの日は都合が悪いという気持ちで言っている)

(4)	(1)	
(5)	(2)	(3)

10 次のそれぞれの文の、——線部のことばの使い方が同じものをあとから——
 つずつ選び、記号で答えなさい。

- (1) 明日は雨がふるらしい。
 ア なんてかわいらしい人だろう。
 イ あの人の話し方はいかにも先生らしい。
 ウ 父はどうやらゴルフにいくらしい。
 エ さわやかな、男らしい態度。
 □(2) 遠足の行き先が決まったそうだ。
 ア かれは、毎朝マラソンをするそうだ。
 イ 今にも雪が降りそうだ。
 ウ もう起きててもよさそうだ。
 エ そんな目にあわせたらかわいそうだ。
 □(3) おいしい料理はいくらでも食べられる。
 ア 百点を取って、母にほめられる。
 イ 先生が校門を閉じられる。
 ウ 今日は宿題がないから早く寝られる。

エ 市場では野菜が売られる。

(1)
(2)
(3)

11 次のそれぞれの文を、() 内の指示にしたがって、全文を書きかえなさい。ただし、ことばの順序は変えないものとします。

- (1) 美しい風景が、わたしのところをなごませる。
 (「風景が」を「風景に」に変える)
 □(2) 妹の叫び声で、私は起こされた。
 (「叫び声で」を「叫び声は」に変える)
 □(3) 先生は、生徒にたくさん宿題をさせる。
 (「先生は」を「先生に」に変える)

(3)	(2)	(1)